



## いとこ<sup>どうし</sup>同士の<sup>こ</sup>子どもは、「はとこ」なの

### 「はとこ」とか「またいとこ」という

あなたには、いとこが何人<sup>なんにん</sup>いますか。いとことよく遊び<sup>あそ</sup>ますか。  
 近く<sup>ちか</sup>に住<sup>す</sup>んでいて、年<sup>とし</sup>が近い<sup>ちか</sup>といっしょに遊<sup>あそ</sup>んだりしますが、遠く<sup>とお</sup>に住<sup>す</sup>んでいたり、年<sup>とし</sup>が  
 はなれていたりすると、めったに会<sup>あ</sup>わなかったりするものですね。

いとこ<sup>どう</sup>というのは、お父<sup>かあ</sup>さんやお母<sup>きょうだい</sup>さんの兄弟<sup>まい</sup>姉妹<sup>こ</sup>の子どもです。あなたにとっては、お  
 じさんやおばさんの子<sup>こ</sup>にあたるわけですね。

お父<sup>どう</sup>さんやお母<sup>かあ</sup>さんのいとこ<sup>こ</sup>の子を、「はとこ」といいます。「またいとこ」とか「ふた  
 いとこ」といういい方<sup>かた</sup>もあります。

「またいとこ」は、漢字<sup>かんじ</sup>で「又<sup>また</sup>従<sup>いとこ</sup>兄弟<sup>か</sup>、又<sup>また</sup>従<sup>いとこ</sup>姉妹<sup>か</sup>」と書き、「はとこ」は、漢字<sup>かんじ</sup>で「再<sup>は</sup>従<sup>と</sup>兄弟<sup>こ</sup>、  
 再<sup>は</sup>従<sup>と</sup>姉妹<sup>こ</sup>」と書きます。

はとこ(またいとこ)になると、一度<sup>いちど</sup>も会<sup>あ</sup>ったことがなかつたり、そんな人<sup>ひと</sup>がいることも  
 知ら<sup>し</sup>なかつたりして、いとこより、ずっと付<sup>つ</sup>き合<sup>あ</sup>いがうすくなってしまふものです。

### おじさんとおばさん

あなたには、おじさんやおばさんがいますか。「おじ」や「おば」には、二<sup>ふた</sup>通り<sup>とお</sup>の書<sup>か</sup>き方<sup>かた</sup>  
 があります。今<sup>いま</sup>ではあまり使<sup>つか</sup>いませんが、お父<sup>どう</sup>さんやお母<sup>かあ</sup>さんの兄<sup>あに</sup>にあたる人<sup>ひと</sup>には、「伯<sup>おじ</sup>父<sup>おじ</sup>」  
 と書<sup>か</sup>きます。弟<sup>おとうと</sup>にあたる人<sup>ひと</sup>は、「叔<sup>おじ</sup>父<sup>か</sup>」と書<sup>か</sup>きます。おばさんの場合<sup>ばあい</sup>も、「伯<sup>おば</sup>母<sup>おば</sup>」  
 のように区<sup>く</sup>別<sup>べつ</sup>して書<sup>か</sup>きます。(監修・田代 脩)

